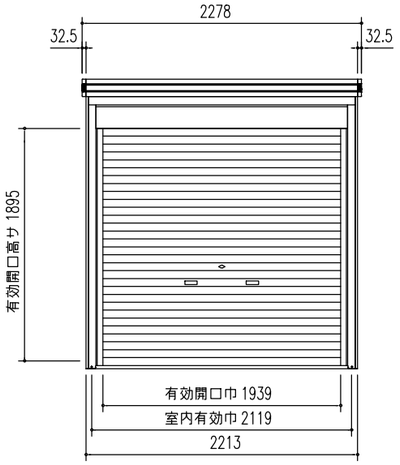
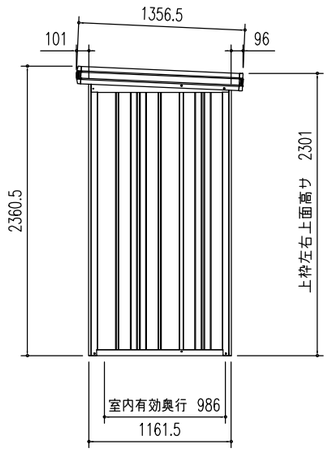
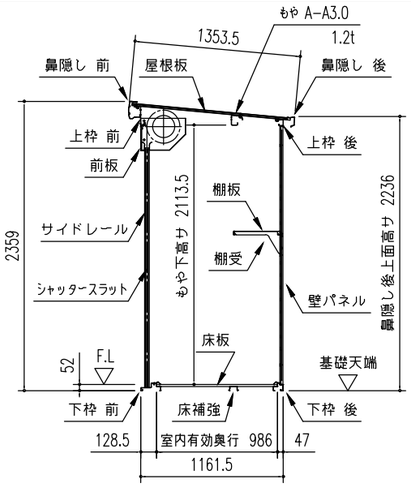


正 面 立 面 図 (S = 1/50)



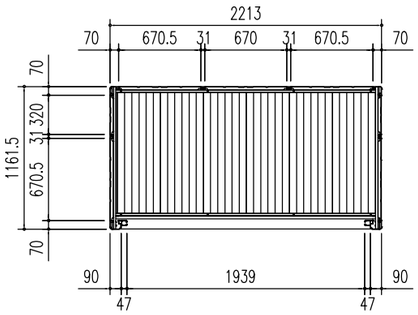
側 面 立 面 図 (S = 1/50)



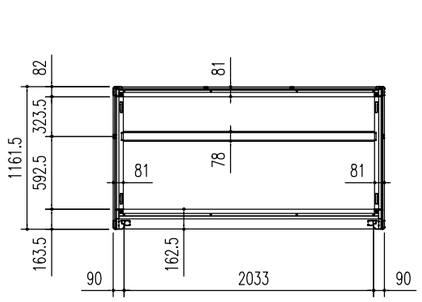
一般型矩計図 (S = 1/50)

部 材 名	厚さ(m/m)	材 質
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床 補 強	1.2	JIS G3321 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 SGLCC
<一般型>もや A-A3.0	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<豪雪型>もや D-A3.0U	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<豪雪型>もや E-A3.0UW	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下枠前 (側・後)	1.2(1.0)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 前 (後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠前補強 (豪雪型のみ)	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 左,右	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前 板	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター水切り	－	アルミニウム合金押出形材
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間 柱 後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<一般型> 間 柱 側	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<豪雪型> 間 柱 側	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
アンカープレート (L)	2.3	JIS G3302 溶融亜鉛めっき鋼板SGCC(後塗装仕上げ)

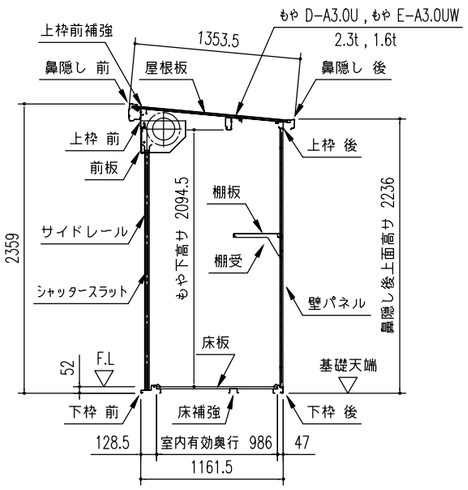
部 材 名	サイズ (巾×高サ)
壁パネル H-A	670 x 2110
壁パネル H-F	319.5 x 2110



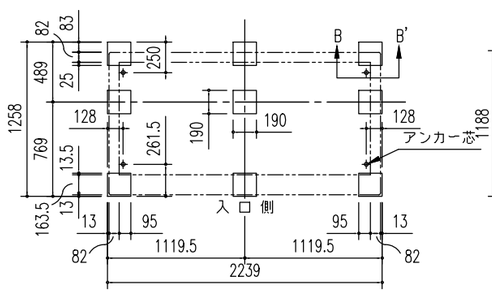
平 面 図 (S = 1/50)



床 伏 図 (S = 1/50)

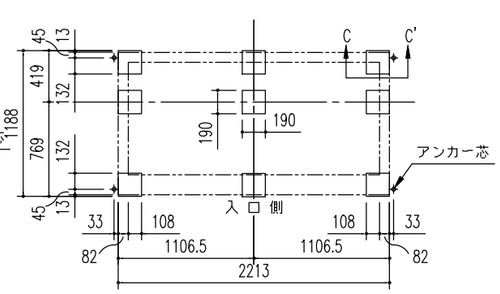


豪雪型矩計図 (S = 1/50)

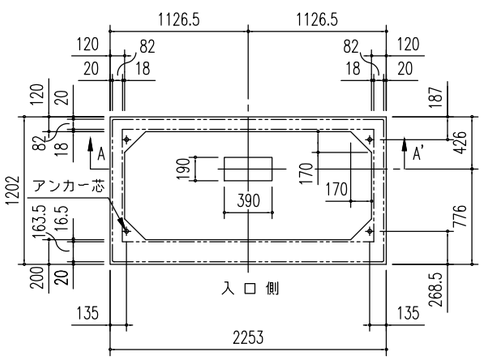


ブロック基礎伏図 (S = 1/50)
(内アンカー用)

※内アンカーセット(オプション)
別途必要

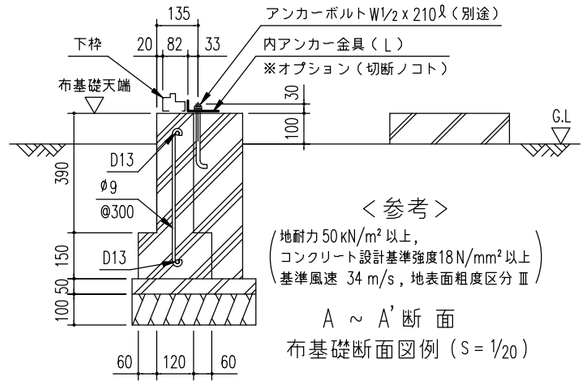


ブロック基礎伏図 (S = 1/50)
(外アンカー用)



布 基 礎 伏 図 (S = 1/50)

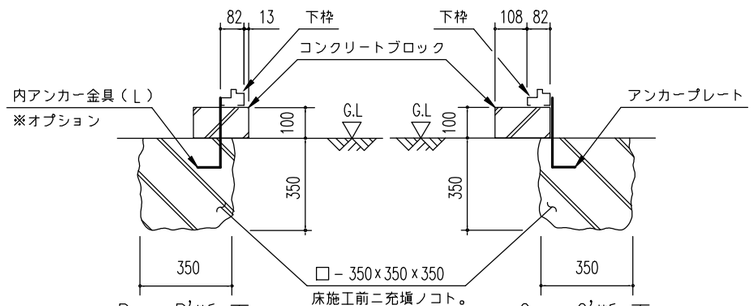
※内アンカーセット(オプション)
別途必要



< 参考 >
(地耐力 50 kN/m² 以上,
コンクリート設計基準強度18 N/mm² 以上
基準風速 34 m/s , 地表面粗度区分 Ⅲ)

A ~ A' 断 面
布基礎断面図例 (S = 1/20)

注1) 地耐力が 50 kN/m² 未満 (30 kN/m²以上) の場合、底盤幅を 300mm とし、
かつ補助筋を入れて下さい。
注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



B ~ B' 断 面
(内アンカー用)

C ~ C' 断 面
(外アンカー用)

ブロック基礎断面図例 (S = 1/20)

名 称	ヨド物置 エルモシャッター <単棟型>
機種名	LOD(U)-2211HF型 <1/1>

株式会社 ヨドコウ